令　和　７　年　度　（2025年度）

事　業　報　告　書

自　令和　7年（２０２５年）４月　１日
至　令和　8年（２０２６年）３月３１日

公益財団法人　関西交通経済研究センター

目　　次

Ⅰ.概況 1
Ⅱ.事業報告 2
　１．調査研究事業 2
　２.一般事業 8
　　(1)サロンセミナー 8
　　(2)かんこうけんコロキウム 8
　　(3)懸賞論文事業 8
　　(4)文献その他出版物の刊行等 9
　３.その他 9
Ⅲ.庶務事項 11
　1.会 議 等 11
　　A.理 事 会 11
　　B.評 議 員 会 11
　　C.役員名簿等 12
　2.賛助会員 12
　3.事務局 12

Ⅰ.概況

当センターは、昭和４７(1972)年１０月２５日に設立、昭和５５(1980)年に物流に加え人流も事業の対象とするため現在の名称に変更、平成２４(2012)年に公益財団法人に移行した。この間約半世紀にわたり、関西経済圏における交通・運輸・観光等に関する総合的な調査研究並びに情報発信等を行い、関西圏の社会、経済の発展に寄与することに努めてきたところである。

今年度の調査研究事業は、関係業界団体等からの受託調査研究事業を１１件実施した。その内訳は継続事業８件、新規事業３件であり、収益は27,870,000円であった。(前年度比4,430,000円減)

新規受託事業は（一社）兵庫県トラック協会の「「改正物流法に関する説明会」の収録業務」、(一財）近畿陸運協会の「女性バスドライバー魅力発信イベント」、(株)キリックの「万博後の観光振興策を考えるシンポジウム」の３事業である。

一般事業である交通経済に関する講演会等の開催については、サロンセミナーを１回、かんこうけんコロキウムを２回を開催した。

懸賞論文事業には、１９編（前年度比７編増）の応募があり、優秀賞２編、奨励賞２編を選定し、かんこうけんコロキウムにおいて受賞者の表彰式及び研究発表を実施した。

このほか、文献その他出版物の刊行及び情報発信として、「関西交通経済ポケットブック２０２５年版」の刊行及び当センターの活動状況などをニュースレターで賛助会員、行政、関係団体等に発信した。

今後とも当センターは、これまでの50年余の歴史と実績を基に、持続可能な地域公共交通の維持・発展、インバウンドによる観光の振興、SDGs、地球温暖化対策など新しい時代のニーズを踏まえ、今後も関西圏の将来を展望し、交通運輸、観光及び経済社会の発展に貢献する情報発信等を行っていく方針である。

Ⅱ.事業報告

１．調査研究事業

受託調査研究事業等・・・１１件

≪概　要≫

（1）バリアフリー推進勉強会の開催（関西地区実施業務）

【事業内容】

交通バリアフリーを推進する上での課題等について、ハード・ソフト両面の個別テーマ毎に最新の動向を踏まえ、関係者等との意見交換や情報交換を目的に、関西地区のバリアフリー推進勉強会を開催した。

【成　果】

○第２１回

・日時：令和7(2025)年9月１２日（金）１３：３０～１６：００

・場所：ホテルプリムローズ大阪　3階 高砂

・テーマ：「大阪・関西万博」で“目指したもの”と当事者から見た“現在地”

・プログラム（報告）

【視覚障害者の立場から】海老澤 弥生 氏（きんきビジョンサポート）

【高齢者の立場から】宮脇 由子 氏（JA わかやま女性会 わかやま地域本部 直川支部 副支部長）

【車いす使用者の立場から】六條 友聡 氏（(社福)ぽぽんがぽん 理事）

【学識者の立場から】柳原 崇男 氏（近畿大学理工学部 教授）

【聴覚障害者の立場から】長宗 政男 氏（(公社)大阪聴力障害者協会 会長）

【LGBTQ＋の立場から】塩安 九十九 氏（新設Ｃチーム企画 主宰）

【知的･精神障害者の立場から】上宮 俊一 氏（(社福)大阪市手をつなぐ育成会 業務執行理事）

【学識者の立場から】室﨑 千重 氏（奈良女子大学生活環境学部 准教授）

・参加者：会場６６名、ライブ配信８０名

※後日、関交研 YouTube チャンネルで録画配信（視聴回数 190 回、2026.4.30 時点）

○第２２回

・日時：令和8(2026)年3月6日（金）１３：１５～１６：４０

・場所：ホテルプリムローズ大阪　2階 鳳凰東

・テーマ：ユニバーサルデザインの視点からみる“大阪･関西万博”について

～当事者参画から得られた成果と課題～

・プログラム

趣旨説明：三星 昭宏 氏（近畿大学 名誉教授）

取組報告①：前原 英樹 氏（大阪市高速電気軌道株式会社 バリアフリー企画課長）

「Osaka Metro の取り組みについて」

取組報告②：児玉 健 氏（大阪経済大学　非常勤講師）

「当事者参画による”気づき”から”かたち”へ」

取組報告③：石塚 裕子 氏（東北福祉大学 共生まちづくり学部 教授）

「大阪ヘルスケアパビリオンのコ・デザイン - 当事者参画のプロセスから生まれたモノ・コト-」

パネルディスカッション

（パネリスト）

六條　友聡 氏（社会福祉法人ぽぽんがぽん 理事）
竹田 幸代 氏（きんきビジョンサポート 会長）
吉川 ひとみ 氏（アクセス関西ネットワーク）
濱崎 はるか 氏（新設Ｃチーム企画）
柳原 崇男 氏（近畿大学　理工学部　教授）
新田 保次 氏（大阪大学　名誉教授）
（ファシリテーター）
石塚 裕子 氏（東北福祉大学 共生まちづくり学部 教授）
・参加者：会場５０名、ライブ配信７０名
※後日、関交研YouTubeチャンネルで録画配信（視聴回数40回、2026.4.30時点）

（2）交通サポートマネージャー研修の実施（２０２５年度、関西地区）
【事業内容】
交通事業者（鉄道、バス等）を対象に、高齢者や障害者等など移動制約者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現し理解を深めることを目的に、交通事業従事者に接遇・介助の知識と技術を伝えるための研修（教育訓練）を実施した。
（訓練のポイント）
・声のかけ方、接遇・介助の方法、配慮する点等について、座学と実技、ディスカッションを通じて総合的に学ぶことができる。
・少人数のグループごとに障害当事者や専門家が加わるディスカッションを行い、参加者からの質問にもその場で回答できる。
・バスや鉄道の車両、駅施設等を用いた実技と専門家、障害当事者講師からの具体例を交えた講義により、実態に近い研修内容である。
【成　果】３回開催し、６８名が受講し修了した。
・第１回　開催日：令和７(2025)年１１月６日(木)～７日(金)　場所：大阪国際交流センター
参加者：２４名（鉄道１４名、バス７名、その他３名）
・第２回　開催日：令和８(2026)年１月１５日(木)～１６日(金)　　場所：京都市交通局会議室
参加者：２５名（地下鉄１１名、バス１４名：京都市交通局職員）
・第３回　開催日：令和８(2026)年２月３日(火)～４日(水)　　場所：大阪国際交流センター
参加者：１９名（鉄道１０名、バス６名、旅客船３名）

（3）交通事業従事者等を対象とした手話教室の開催
【事業内容】
交通事業従事者の手話技能の習得による接遇向上と聴覚に障害のある方への理解促進を図るための手話教室を開催した。
【成　果】
〇オンライン手話教室の開催
・実施期間：令和７(2025)年５月１３日(火)～７月２９日(火)全１０回
・受講者数：８名（バス１名、旅客船１名、その他６名）

〇出前手話教室の開催
・事業者：嵯峨野観光鉄道株式会社

・開催日：令和８(2026)年２月１６日(月)１３：００～１５：００
・受講者数：２６名
【講習内容】
・聴覚・言語障害者とその種類、そして、聞こえの程度
・手話以外のコミュニケーション方法（口話、身振り、絵やイラスト、筆談、指文字）
・手話の体験（指文字、数字、基本的な手話表現）

（４）兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等
【事業内容】
社会との共生を図りトラック運送業界の持続的発展を目指すため、２０３０年カーボンニュートラルに向けたトラック運送業界の自主的取り組みである「環境ビジョン２０３０」を実践しつつ、脱炭素化に向けた以下の取り組みを実施した。
【成　果】
１.エコドライブ意識調査の実施
⑴エコドライブチェック
カーボンニュートラル実現に向けドライバーにエコドライブの啓発を目的に実施。実施期間中に運転者が自らの運転を振り返り、１２項目あるエコドライブチェックシートに記入。記入結果を集計、分析し報告書に取りまとめた。
・実施期間：令和７(2025)年１１月１日から３０日（※エコドライブ推進月間）
・回答数：１０９社、ドライバー１，４８４名
⑵エコドライブ意識アンケート（経営者・管理者向け）
エコドライブの認知度、参加状況、取り組みなどについて調査。集計、分析結果を取りまとめ、経営者層へのエコドライブの重要性を周知した。
・実施期間：令和７(2025)年１１月１日から３０日
・回答数：９５社

２.広報誌「トラック業界の価値を高める羅針盤」の作成（電子版、１１ページ）
・テーマ：　ドライバーの適切な賃金の確保とトラック運送業者の質の向上
・送信先：兵庫県トラック協会の会員事業者

３.「環境と物流を考えるフォーラム」の開催
トラック運送事業が社会に果たしている役割やその重要性、また環境対策への取り組みなどを周知し、併せて、トラック運送業界および会員事業者の環境改善への取り組みの有効性を理解いただくために開催した。
・日時：令和７(2025)年１１月２０日（木）１４:００～１６:５０
*後日、兵庫県トラック協会 YouTube チャンネルで録画配信（視聴回数 31 回、2026.4.30 時点）
・場所：兵庫県トラック総合会館　３階 大会議室
・プログラム
講　師：久保 康雄 氏（兵庫県神戸県民センター 神戸県税事務所 収税室長）
テーマ：「兵庫県の不正軽油対策について」
講　師：岡村 和賛 氏（一般財団法人日本気象協会 関西支社 担当部長）
テーマ：「運送事業者が取り組む異常気象への対策～物流業務への気象情報の活用～」

講　師：和田 由貴 氏（節約アドバイザー）

テーマ：「サスティナブルな未来のために私たちができること」

・参加者：６０名

４．電子ブック「トラックドライバーのための減災 BOOK 災害時の行動」の改訂

「緊急時便利帳」の内容を充実させ、リニューアルした。

（5）「改正物流法に関する説明会」の収録業務（※新規）

【事業内容】

兵庫県トラック協会が会員事業者を対象に開催する説明会（令和 7 年 5 月 13 日開催、兵庫県トラック総合会館）の動画を収録し、納品した。

（6）第１７回 自動車事故防止セミナー

【事業内容】

本セミナーは、事業用自動車の事故防止対策の一環として平成１９年度より毎年開催している。今年度は「自動車運送事業の安全安心の未来を見据えて」をテーマに開催するとともに、初めてセミナーに併せて「点呼機器展示会」を併催した。

【成　果】

・日時：令和８(2026)年２月９日（水）１３：００～１６：００

・場所：中央電気倶楽部 ５階 ホール

・プログラム

講演１　講　師：加藤 博和 氏（名古屋大学大学院 環境学研究科 教授、
一般財団法人中部貸切バス適正化センター 会長）

テーマ：「事業用自動車事故防止のためのしくみづくりに関わって」

講演２　講　師：奥平 賢治 氏（国土交通省 物流・自動車局 安全政策課 専門官）

テーマ：「運行管理高度化の現在と未来」

講演３　講　師：吉田 智博 氏（新生物流有限会社 代表取締役）

テーマ：「点呼業務の最前線
～遠隔・自動・事業者間点呼の導入実践から見えた可能性と課題～」

・参加者　１５５名

*後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで録画配信（視聴回数 1108 回・2026.4.30 時点）

（7）交通環境教室

【事業内容】

少子高齢化、人口減少、そして、モータリゼーションの進展等により、乗合バスを取り巻く環境は極めて厳しい中、将来通学や通勤などで地域公共交通機関を活用する機会が多くなる小学生を対象に、地域の交通、環境問題に関心を持つきっかけを与えることを目的に体験型の交通環境教室（バス事業者、学識者の講話、バス営業所の見学等）を実施した。なお、学校から好評をいただき、要望があったことから前年度に引き続いて同じ学校で実施した。

【成　果】

・日時：令和７(2025)年８月２８日(水)９：２０～１１：２５

・場所：京都市立祥豊小学校／西日本ジェイアールバス株式会社 京都営業所

・参加児童：６７名（小学２年生）
・講師：神田　佑亮 氏（呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授）
　　小林　翼 氏（西日本ジェイアールバス株式会社）
・アンケート結果：
　バス利用の現状を聞くと、バスに乗って「お出かけしない」が約半数を占めていたが、本教室の実施後は、「バスに乗りたい」が 88%、「バスが地球環境によい乗り物ということが分かった」が 86%に上った。本教室を通じて、バスに親しみを持ち、乗ることで社会貢献につながることの理解が広まった。

（8）運輸安全マネジメントセミナー２０２６
【事業内容】
　国土交通省では、運輸安全マネジメント制度を活用することにより、安全管理体制の構築や安全に関する取組を推進している。安全管理規程等の届出義務付け対象が拡大しているものの、新たに対象となった事業者への浸透状況は道半ばの状況にある。そこで、運輸安全マネジメント制度について、改めて導入の経緯、事業者の義務等の事項に関するセミナーを開催し、事業者への普及・啓発を図るものである。
【成　果】
・日時：令和８(2026)年３月４日(水) １３：３０～１６：００
・場所：ホテルプリムローズ大阪　２階 鳳凰東
・プログラム
（基調講演Ⅰ）内田 雅之 氏（近畿運輸局 総務部 安全防災・危機管理課長）
「運輸安全マネジメント制度①～概要・導入の経緯～」
（基調講演Ⅱ）重末 和弘 氏（近畿運輸局 運輸安全推進室 地方運輸安全調査官）
「運輸安全マネジメント制度について②
～自動車運送事業者の義務、運輸安全マネジメント評価の概要～」
（事例紹介①）上永 隆始 氏（株式会社つばめ急便 運行管理グループ 課長）
「つばめ急便における運輸安全マネジメントの取組みについて」
（事例紹介②）築地 恭吾 氏（株式会社新星運輸商事 常務取締役）
「運輸安全マネジメント 新星運輸商事の取組状況」
・参加者：１０６名
*後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで録画配信（視聴回数 89 回、2026.4.30 時点）

（9）地域公共交通活性化シンポジウム
【事業内容】
　地方自治体を中心に多様な地域の関係者が、共通の問題意識を持ち、利便性・生産性・持続可能性が高い地域交通のあり方を主体的に考え、連携・協働し、地域に支えられて地域を支えていく交通を構築する機運を醸成することを目的に開催した。
【成　果】
・日時：令和８(2026)年２月１３日(金) １３：３０～１６：３０
・場所：ホテルプリムローズ大阪　２階 鳳凰
・プログラム
（基調講演）松村 暢彦 氏（愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 教授）
「公共交通づくりに向き合う姿勢」
（事例紹介①）林田 真司 氏（熊本県荒尾市 総務部総合政策課 課長補佐兼政策推進室長）

「公共交通で出かけたくなる、移動目的と移動手段の連動
～健康づくりや商業施設と連携したモビリティ・マネジメント～」
（事例紹介②）笹倉 宏一 氏（富山県富山市 活力都市創造部交通政策課）
「富山市の地域公共交通について
地域自主運行バス地域組織が主体となったコミュニティバス
「呉羽いきいきバス」の運行～」
（事例紹介③）鮎川 真理 氏（佐賀県小城市 建設部都市計画課 係長）
「デマンド廃止から学ぶ住民ニーズへの対応」

・参加者：１８０名

*後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで録画配信（視聴回数 116 回・2026.4.30 時点）

（１０）女性バスドライバー魅力発信イベント（※新規）

【事業内容】

全国的に乗合バスの運転者は不足しており、令和 6 年度のバス運転者の有効求人倍率は 2.07 と全職業（1.14）を大きく上回っている。一方で同職業の女性比率が極端に低い（2.6%）ことを鑑みると、バス運転者の充足状況を改善するためには、採用の裾野を広げて女性比率を高める必要がある。そのため、本事業では、女性の就業を促進することを目的に実施した。

【成　果】

・日時：令和８(2026)年３月１日(日)１２:００～１６:００

・場所：ディーズスクエア（ディアモール大阪内　円形広場）

・プログラム

1. 現役女性バスドライバーのトークセッション
【参加事業者】奈良交通（株）、神姫バス（株）、京阪バス（株）、阪急バス（株）
2. NASVA・運転シミュレーターの設置
3. バスドライバーへの職業相談コーナーの設置
4. 女性バスドライバーの魅力を掲載したチラシ配布

・効果

実施したアンケート（回答１２９名）では「イベントでバスドライバーの印象が変わったかどうか」の質問では、約６０%が「良い方向に変わった」と回答したことから、トークセッション、チラシでの仕事の紹介、職業相談等の効果があったものと思われる。また「バスドライバーは就業先候補に挙げられるか」の質問では、「候補の１つである」が１名、「検討中」は２０名もいたことは本イベントでの成果の一つと考えられる。

（１１）万博後の観光振興策を考えるシンポジウム（＊新規）

【事業内容】

関西では更なるインバウンドの拡大が期待されることから、万博閉幕後も地方誘客促進・消費額拡大に向けた取組を推進することが重要である。関西各地への誘客促進に向けて“どのような取組が考えられるのか”などを参加者と共に考えることを目的に開催した。

【成　果】

・日時：令和７(2025)年１１月６日(木)１３:３０～１６:３０

・場所：大阪歴史博物館　４階 講堂

・プログラム

（基調講演）橋爪 紳也 氏（大阪公立大学研究推進機構 特別教授）

「大阪・関西万博のレガシーと国際集客都市 EXPO2025 ＋BEYOND」

（取組紹介）兵庫県姫路市「姫路城の保存・活用、MICE 誘致」

（取組紹介）株式会社明治「明治が考える関西活性化策」

（パネルディスカッション）

＜パネリスト＞ 一般財団法人関西観光本部、一般財団法人アジア太平洋研究所、
公益社団法人ひょうご観光本部、西日本旅客鉄道株式会社、近畿運輸局

・参加者：１２６名

*後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで録画配信（視聴回数 113 回、2026.4.30 時点）

２.一般事業

⑴サロンセミナー

・日時：令和７(2025)年１２月２日（火） １５:００～１６:４５

・場所：大阪キャッスルホテル 鳳凰・白鳥・千鳥の間

・講師：服部 真樹 氏（国土交通省近畿運輸局長）

・テーマ：「関西における交通・物流・観光の現状と課題」

・参加者：９５名

⑵かんこうけんコロキウム

①第４９回

・日時：令和７(2025)年１０月２日（木） １６:００～１７:１５

・場所：大阪キャッスルホテル 亀・鶴の間

・講師：佐藤 健二 氏（国土交通省近畿運輸局 自動車技術安全部長）

・テーマ：「自動運転への取り組みについて」

・参加者：３４名

②第５０回

・日時：令和８(2026)年３月１９日（木） １０:００～１２:００

・場所：中央電気倶楽部 ５階 ５１１号室

・内容：懸賞論文受賞者(優秀賞・奨励賞)の表彰式及び研究発表

・参加者：２６名

⑶懸賞論文事業

関西圏における運輸交通・観光の一層の発展と地域社会の活性化に寄与するため、平成２０(2008)年度から実施している。

今年度は１９編の応募があり、審査委員会での厳正な審査の結果、優秀賞２編、奨励賞２編を選定した。

○ 優秀賞：野上 歩羽 氏・南 玲那 氏・瀧 千晴 氏（和歌山大学 観光経営専攻）

「デマンドタクシーの普及要因に関する比較分析−近畿圏事例の QCA から和歌山県への提言−」

○ 優秀賞：加藤 万結 氏（神戸大学 経営学部 経営学科）

「利用者の認知と行動要因から見た放置駐輪の実態分析 −西宮北口駅周辺を対象として−」

○ 奨励賞：上西 悠斗 氏（関西学院大学 総合政策学部 都市政策学科）

「日韓主要５空港の乗継空港としての評価と比較

ー関西３空港の適切な機能分担と最大活用に向けた政策提言ー」

○ 奨励賞：角谷　諒弥 氏（関西学院大学大学院　総合政策研究科）

「神戸都心部における自転車交通の回遊ポテンシャル評価

ーシェアサイクルの発展に向けた提言ー」

(4) 文献その他出版物の刊行等

①「関西交通経済ポケットブック２０２５年版」の刊行　※収益事業

・昭和４８（1973）年度から関西経済圏における交通経済に関する統計資料を毎年発行

(国土交通省地方支分部局監修)

・発行部数：６５０部

・主な配付先：関係官公庁（国土交通省地方支分部局、神戸市港湾局等）、賛助会員、関係事業者団体等

②メールマガジン「関交研ニュースレター」の発信

・当センター主催の講演会等の開催案内、講演録などの情報を賛助会員等に配信

３.その他

令和７(2025)年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当することがないので、事業報告の附属明細書は作成しない。

(参考)

令和７年度（２０２５年度）　調査研究事業一覧表

(p２～８関連)

番号	事業名	委託先
1	バリアフリー推進勉強会の開催 （関西地区実施業務）	(公財)交通エコロジー・ モビリティ財団
2	交通サポートマネージャー研修の実施 （２０２５年度、関西地区）	(公財)交通エコロジー・ モビリティ財団
3	交通事業従事者等を対象とした手話教室の開催	(公財)交通エコロジー・ モビリティ財団
4	兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等	(一社)兵庫県トラック協会
5	「改正物流法に関する説明会」の収録業務	(一社)兵庫県トラック協会
6	第１７回 自動車事故防止セミナー	(一財)近畿陸運協会
7	交通環境教室	(一財)近畿陸運協会
8	運輸安全マネジメントセミナー２０２６	(一財)近畿陸運協会
9	地域公共交通活性化シンポジウム	(一財)近畿陸運協会
10	女性バスドライバー魅力発信イベント	(一財)近畿陸運協会
11	万博後の観光振興策を考えるシンポジウム	(株)キリック

Ⅲ. 庶務事項

1. 会 議 等

A. 理 事 会

（1）第３８回　理　事　会

開　催　日　　令和７年５月３０日（金）
開 催 場 所　　中央電気倶楽部（大阪市北区）
議　　案　　① 令和６年度事業報告書（案）について
② 令和６年度決算報告書（案）について
③ 第２８回定時評議員会の招集（案）について

（2）第３９回　臨 時 理 事 会（決議の省略）

開　催　日　　令和７年１２月２４日（水）
議　　案　　① 第２９回臨時評議員会の開催（決議の省略）について

（3）第４０回　臨 時 理 事 会（決議の省略）

開　催　日　　令和８年１月２１日（水）
議　　案　　① 理事長の選定について

（4）第４１回　理 事 会

開　催　日　　令和８年３月２５日（水）
開 催 場 所　　中央電気倶楽部（大阪市北区）
議　　案　　① 令和８年度事業計画書（案）について
② 令和８年度収支予算書（案）について
③ 第３０回臨時評議員会の招集（案）について

B. 評 議 員 会

（1）第２７回　臨 時 評 議 員 会（決議の省略）

開　催　日　　令和７年４月１０日（木）
議　　案　　① 理事の辞任に伴う選任について

（2）第２８回　定 時 評 議 員 会

開　催　日　　令和７年６月２６日（木）
開 催 場 所　　中央電気倶楽部（大阪市北区）
議　　案　　① 令和６年度決算報告書（案）について
② 評議員の選任について

（3）第２９回　臨 時 評 議 員 会（決議の省略）

開　催　日　　令和８年１月１４日（水）
議　　案　　① 理事の辞任に伴う選任について

C. 役員名簿等

（令和８年３月３１日 現在）

（1）役　員

会　長	尾崎　裕	大阪ガス株式会社　相談役
理事長	加藤　進	一般財団法人関西観光本部　代表理事　専務理事
常務理事	福元　稔	公益財団法人関西交通経済研究センター　事務局長
理　事	天野　繁弘	日本通運株式会社　大阪支店長
〃	小谷　通泰	神戸大学　名誉教授
〃	加藤　琢二	加藤汽船株式会社　代表取締役会長
〃	鈴木　一明	一般社団法人大阪バス協会　会長
〃	平島　竜二	一般社団法人京都府トラック協会 会長
〃	和田林　道宜	近畿日本鉄道株式会社　相談役
監　事	岡田　信	阪神バス株式会社　代表取締役会長
〃	中井　宏	近畿冷蔵倉庫協議会　会長

（2）評　議　員

評議員	上村　正美	阪急電鉄株式会社　専務取締役
〃	岡田　宏二	一般財団法人神戸観光局　専務理事
〃	小林　敏二	南海フェリー株式会社　代表取締役社長
〃	長尾　真	公益社団法人兵庫県バス協会　会長
〃	野口　恭広	株式会社名門大洋フェリー　代表取締役社長
〃	橋本　一孝	株式会社辰巳商会　常勤監査役
〃	春名　幸一	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長兼執行役員 地域まちづくり本部長
〃	深津　安郎	一般財団法人近畿陸運協会　理事長

（3）顧　問

	野村　明雄	大阪ガス株式会社　名誉顧問

2. 賛助会員

法人会員数・口数	７６	法人	８１２ 口
個人会員数・口数	１１	名	１３ 口

3. 事務局

（1）事 務 所

大阪市西区西本町１丁目６番２号（阿波堀ビル ３F）

電　話 （０６）６５４３－６２９１　　ＦＡＸ （０６）６５４３－６２９５

ホームページ http://www.kankouken.org

（2）役 職 員 （令和８年３月３１日現在）

役　員	3名	（会長（非常勤）、理事長（非常勤）、常務理事）
事務局長	1名	（常務理事、事務局長兼務）
総 務 部	1名	（係長）
業 務 部	1名	（課長）